

農事組合配布資料の次第

令和3年12月22日

1. 営農生活課からの連絡

(1) 令和3年産米について

- ①令和3年産水稻の状況（飯塚普及指導センター） P1
- ②令和3年産 米集荷・検査実績表（主要品種） P2
- ③令和3年産米概算金振込・検査格付通知書配布のお願い P3
- ④レンタルパレットの返却について P3

(2) 令和4年産米について

- ①令和4年度 JA直鞍の喜ばれる米づくり運動方針 P4
- ②令和4年産 水稻品種別作付誘導方針 P4

(3) 令和3年産 ブロッコリー振興について P5

(4) アグリ土づくりセンターの堆肥について P6

(5) 「農薬を知る。理解する。適正に使う。」について P7

(6) 「日本農業新聞」・「家の光」のご購読申込について P8・9

(7) 賦課金の引落としについて

- ①令和3年11月25日に引落としをさせていただきました。

(8) 令和3年度農事組合長手当の振込について

- ①令和3年12月下旬に振込みをさせていただきます。

2. 経済農機課（グリーンセンター）からの連絡

(1) 令和4年産水稻育苗申込みに係る利用内容について P10

(2) 令和4年産水稻種子、肥料、農薬、除草剤、 土壌改良剤・果樹苗木の注文について P11~16

育苗申込書および各注文書の提出について

提出期限：令和4年1月14日（金）

提出先：各グリーンセンター

3. その他

(1) 支所・事業所再編のお知らせ (別紙チラシ)

(2) 事業所の再編に伴う農機センターの統合移転について . . . (別紙チラシ)

※上記内容は、JAだより（12月号）等でもご案内させていただいております。

1 令和3年産水稻の概況

(1) 生育概況

【早期】(～5/15)

○田植え

4月12日頃から開始された。4月18日～4月25日を中心に行われた。

○生育

4月中旬移植の水稻は、直後の低温によって1週間程度生育が停滞した。その後の気温上昇に伴い生育は回復し、出穂期は4月20日前後移植のものと同等となった。

また、梅雨時期に降雨が少なく、気温も高かったため、一部で干ばつの被害も発生した。ウンカ類の飛来が例年になく早かったため警戒したが、その後の飛来が少なかったため影響は出なかった。出穂期までの気候に恵まれたため穂数、籾数が多くなった。一方で出穂期後の日照不足によって、やや充実不足となった。

○出穂期

平年より2日程度早い

○収穫

8月の長雨によって収穫は遅れた

○収量

平年よりやや多い。

○品質

平年並。白未熟粒や被害粒は少なかったが、やや充実不足となった。

【普通期】(5/16～)

○田植え

最盛期は6月上旬。天候に恵まれ、順調に行われた。

○生育

7月までは、高温多日照で推移したため生育は旺盛に進み、病害虫の発生もほとんど見られなかった。

8月に入り、台風が通過した後、降雨が続いたため、一部で半日程度の冠水が見られた地区もあった。出穂期は5日程度早く、収穫期も早くなる見込みだったが、降雨が多く、気温も低かったため、結果的に平年並となった。

8月上旬に出穂した品種については、籾ずれによる籾の褐斑が見られ、8月中旬以降に出穂した品種を中心にいもち病が発生した。

9月以降、降雨が少なく、用水を通していない地区では白乾しているほ場が見られ、乾燥害が発生した。また、カメムシ類が増えて、吸汁被害が発生した。

○出穂期

平年に比べ5日程度早い

○収穫

収穫期の天候はよかったものの、籾の見目が青かったため、一部で刈り遅れた生産者がいた。

○収量

平年よりやや少ない。

○品質

充実不足やいもち病・カメムシ類・肌ずれ等被害粒が目立った。

(2) 病害虫について

・スクミリンゴガイ

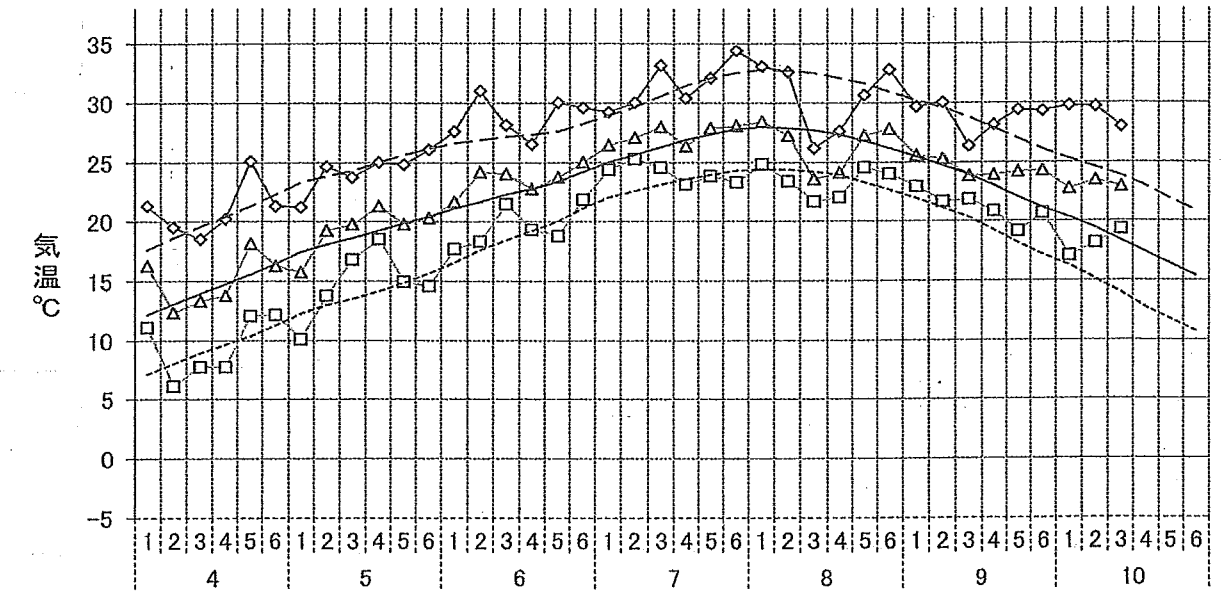
暖冬により越冬数が多く、被害は近年並。

・いもち病

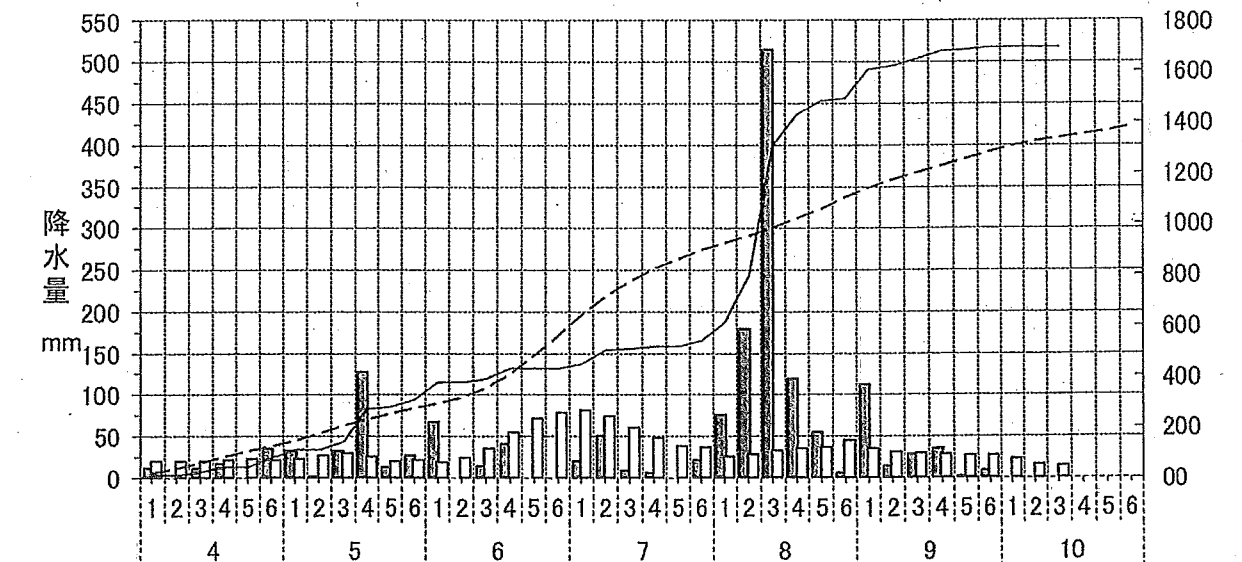
8月の長雨によって、出穂後しばらくたってから発病したような圃場が多く見られた。

・ウンカ類

5月から飛来し警戒したが、梅雨時期の飛来が少なく、被害は出なかった。



—◇— 最高(2021～) -□- 最低(2021～) —△— 平均(2021～)
- - - 最高(平年) 最低(平年) ——— 平均(平年)



▨ 降水量(2021～) □ 降水量(平年) ——— 積算降水量(2021～) - - - 積算降水量(平年)

令和3年産 米集荷・検査実績表(主要品種)

2021年11月30日 現在

①JA米・加工米集荷実績

単位:俵

品名	等級	コシヒカリ				夢つくし				元気つくし				ヒノヒカリ				その他うるち米				ヒヨクモチ				合計
		1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	
JA米	R2年	227.0	17.0		244.0	4,106.0	18,642.0	1,019.0	23,767.0	864.0	1,996.0	631.5	3,491.5	134.0	2,372.0	193.5	2,699.5	59.0	199.5	50.0	308.5		48.5	64.0	112.5	30,623.0
	R3年		149.0		149.0	2,907.0	18,722.5	1,508.5	23,138.0	2,208.5	1,485.0	52.0	3,745.5	1,675.0	2,086.0	141.5	3,902.5	127.0	96.5	28.0	251.5		5.5	119.0	124.5	31,311.0
加工米	R2年						116.0		116.0					70.0	168.5	19.0	257.5								373.5	
	R3年					4.0	118.0		122.0	4.5		4.5	43.0	130.5	10.5	184.0				0.0					310.5	
合計	R2年	227.0	17.0		244.0	4,106.0	18,758.0	1,019.0	23,883.0	864.0	1,996.0	631.5	3,491.5	204.0	2,540.5	212.5	2,957.0	59.0	199.5		308.5		48.5	64.0	112.5	30,996.5
	R3年		149.0		149.0	2,911.0	18,840.5	1,508.5	23,260.0	2,213.0	1,485.0	52.0	3,750.0	1,718.0	2,216.5	152.0	4,086.5	127.0	96.5	28.0	251.5		5.5	119.0	124.5	31,621.5
	1等米比率					13%				59%				42%				50%								22%

②JA米・加工米市町村別出荷数量

市町村名	直方市				小竹町				宮若市(宮田地区)				宮若市(若宮地区)				鞍手町				合計				
	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計					
年産 等級																									
R2年	238.0	771.0	421.0	1,430.0	20.0	1,576.5	263.0	1,859.5	987.5	4,941.5	285.0	6,214.0	2,931.0	6,653.0	236.5	9,820.5	1,283.5	9,617.5	771.5	11,672.5					30,996.5
R3年	669.5	863.5	201.5	1,734.5	300.5	1,756.5	28.0	2,085.0	1,292.5	4,724.5	763.0	6,780.0	2,326.5	6,594.0	320.5	9,241.0	2,380.0	8,854.5	546.5	11,781.0					31,621.5
前年比	281%	112%	48%	121%	1503%	111%	11%	112%	131%	96%	268%	109%	79%	99%	136%	94%	185%	92%	71%	101%					102%

③出荷数量実績

市町村	品名 年産	JA米		加工用米		備蓄用米		米粉用米		飼料用米		合計		前年比
		R2年	R3年	R2年	R3年	R2年	R3年	R2年	R3年	R2年	R3年	R2年	R3年	
直方市		1,430.0	1,734.5					1,636.3	1,889.7	1,032.5	364.0	4,098.8	3,988.2	97%
小竹町		1,859.5	2,085.0							1,220.7	1,040.7	3,080.2	3,125.7	101%
宮若市		15,661.0	15,710.5	373.5	310.5					3,605.3	4,551.3	19,639.8	20,572.3	105%
鞍手町		11,672.5	11,781.0			297.5	440.5			1,681.0	2,184.5	13,651.0	14,406.0	106%
合計		30,623.0	31,311.0	373.5	310.5	297.5	440.5	1,636.3	1,889.7	7,539.5	8,140.5	40,469.8	42,092.2	104%

令和3年産米概算金振込通知書・検査格付通知書の配布について

令和3年産の米の検査につきましては、おかげをもちまして終了致しました。

J Aに米を出荷いただいた方へ個別に米の概算金振込通知書及び検査結果格付通知票を同封しておりますので、配布していただきますようよろしくお願いいたします。

※格付通知票は、令和3年8月～11月の検査分を同封しています。

以上

ご質問・お問合せは下記まで
J A直轄 営農センター
TEL 32-3755
担 当 稲垣、田形

レンタルパレットの返却について

令和3年産の米入庫時に貸出致しましたレンタルパレット

(UPR) 木製13型の返却が遅れております。

レンタルパレットのリース料は、1か月1枚当たり約270円の経費が掛かっております。各倉庫において返却・出庫・はい付け等でパレット数量が集まり次第、随時返却しておりますので、まだご返却がお済みでない方は、営農センターまで至急ご連絡の上、ご返却して頂きますようよろしくお願いいたします。

尚、破損・紛失については、1枚当たり5,000円頂く場合がございます。

ご連絡先	
営農センター	0949-32-3755
担 当	稲垣・田形

令和4年度 JA直鞆の喜ばれる米づくり運動方針

1. 目的

近年、人口の減少や生活様式の変化等の影響により、コメの消費が減少傾向にあり、産地間競争はさらに厳しくなっています。また、米の需給調整については、国が策定する需給見通しを踏まえつつ、生産者や集荷業者・団体が中心となって需給に応じた生産を行う仕組みとなっている。

このような状況を踏まえ、米づくりの持続的な発展を図るには、これまで以上に消費者重視・品質重視の考えのもと、消費者・実需者はもとより生産者からも喜ばれる、JA直鞆の米づくり推進を行い、水田農業の担い手の経営を支えることが重要です。このため、生産者と一体になって展開していくため、下記の重点項目を遵守する。

2. 重点項目

- ①種子更新 100%
- ②品質の向上 1等米比率70%以上
- ③田植日 6月10日以降（高温障害対策）
- ④玄米水分 目標 14.5%
- ⑤ふるい目 1.85mm以上
- ⑥全量集荷の推進 目標 35,000俵
- ⑦生産履歴（100%提出） 全生産者への記帳の徹底（常時開示可能）

3. 重点方針

1) おいしい米づくり

- ①適地適作を基本とした県育成良食味品種の生産推進
- ②実需者の需要に応じた作付誘導の推進
- ③食味分析の活用とそれに基づく栽培指導の徹底
（玄米タンパク質含有率6.8%以下）
- ④県育成高温耐性品種の導入検討

2) 安全・安心な米づくり

- ①生産履歴の全生産者による記帳と情報提供
- ②適期防除による農薬使用回数の低減
- ③農薬の飛散防止（ドリフト）
- ④残留農薬検査の実施

3) 品質向上と作柄安定

- ①高温耐性品種の作付による収量・品質の向上
- ②適期移植や適正施肥による高温障害の回避
- ③いもち病、ウンカ類等病害虫に対する持続効果の高い箱施薬の使用

4) JA米の要件

- ①品種が確認できた種子により生産した米穀
- ②登録検査機関で農産物検査を受検した米穀
- ③生産基準に基づき栽培され、栽培履歴記帳を確認した米穀

令和4年産 水稻品種別作付誘導方針

1. 極早生品種

【コシヒカリ】

直鞆米及び減減米の契約栽培として、直売所で有利販売して行く上で重要な品種であり、地域で団地化を行う。

【夢つくし】

直鞆で最も多く作付されている良食味で、消費者の評価も高い品種であるが、いもち病に弱いため栽培技術の徹底を行い適期防除に努める。

また、極端な早植えは品質（心白等）・食味が低下する恐れがあるので、早期栽培や早植えは抑制する。

2. 早生品種

【元気つくし】

良食味品種であり、登熟期間中の高温条件下でも品質低下が少ない。田植は、6月中旬以降とし、いもち病にも弱いため適期防除を行い、ブランドの定着を図り、需要に応じた作付けを行う。

3. 中生品種

【ヒノヒカリ】

平坦地での移植時期は登熟期の高温障害対策のため、6月中旬以降の田植とし、土壌の肥沃度に応じて適切な施肥を行う。

【実りつくし】

ヒノヒカリよりも良食味品種で、登熟期間中の高温条件下でも品質低下が少なく、安定多収栽培技術の確立に努める。しかし、いもち病に弱く、成熟期もヒノヒカリより7日~10日程度遅い。

【JA直鞆 水稻品種別作付誘導目標】

（単位/ha）

年度 品種名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 誘導	令和5年度 計画
コシヒカリ	6	6	4	4
夢つくし	1,349	1,346	1,320	1,320
元気つくし	220	233	250	260
ヒノヒカリ	283	265	280	280
実りつくし	16	14	20	30
他品種	45	51	41	21
モチ	22	20	20	20
合計	1,941	1,935	1,935	1,935

（上記表以外に、飼料用米・稲・米粉・醸造用米で14ha 作付けあり）

（※作付面積は、農業共済のデータを参照）

令和3年産 ブロッコリー振興について

作成: 令和3年 12月20日

① 作付実績・誘導目標

項目	前年実績		令和3年	
	令和1年	令和2年	作付状況	誘導目標
生産者	16名	22名	23名	-
栽培面積(a)	500	807	1192	1000
収穫量(t)	29	58	115	90
販売金額	635万円	1,397万円	2,521万円	2,250万円

② 品種別作型表

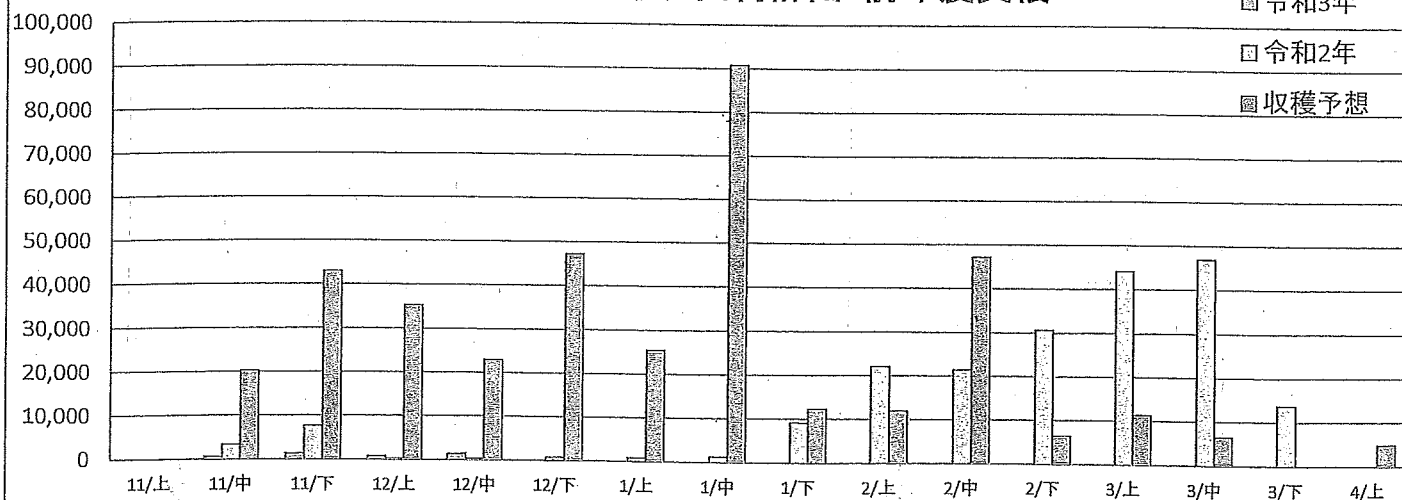
品種	播種日	定植予定日	収穫開始予定日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サマードーム	7/下	8/下	11/下	○-○							
おはよう	8/上~9/上	9/上~10/上	11/上~12/上		○						
ピクセル	8/上~8/中	9/上~9/中	11/上~12/中		○-○						
こんにちは	8/上~8/下	9/上~9/下	11/中~12/中		○						
グラドーム	8/上~9/上	9/上~10/上	12/上~1/中		○						
ウィンタードーム	8/中~8/下	9/中~9/下	1/中~2/上		○-○						
クリア	8/中~9/中	9/中~10/中	1/中~3/上		○						
彩麟	8/下~9/中	9/下~10/中	1/下~2/中			○					
ともえ	8/下~9/上	9/下~10/上	2/中~3/中		○-○						

○ : 定植 □ : 収穫

③ 定植実績及び予想収穫量

品 種	面積(a)	予想収穫量(株)	品 種	面積(a)	予想収穫量(株)
サマードーム	48	15,374	沢ゆたか	13	4,199
おはよう	193	62,178	美緑410	19	6,202
ピクセル	15	4,845	むつみ	35	11,144
こんにちは	115	37,080	アーサー	25	8,075
グラドーム	348	112,503	晩緑99W	25	8,075
ウィンタードーム	37	11,951	その他	55	17,765
クリア	164	52,972			
彩麟	52	16,796			
ともえ	50	16,150			
合 計			合 計	1,193	385,309

令和3年産 出荷計画・前年度実績

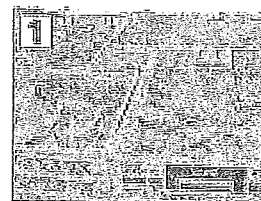


水稲の後作に ブロッコリーで 所得+プラス

生産に集中!
あとはパッケージセンターにおまかせ!
出荷労力の軽減と契約取引による
収入の安定をはかります!

JA直轄では
パッケージセンター向け
ブロッコリーを推進
しています

パッケージセンター 持込~出荷の流れ



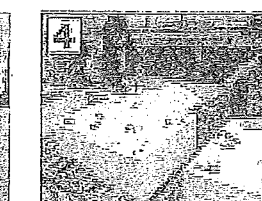
1 専用コンテナで持込みそ
の後冷蔵保存



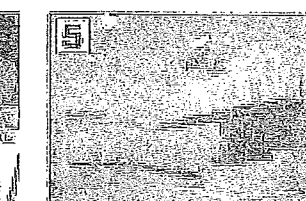
2 調整・加工・仕分けを
行い、容器に詰めます。



3 出荷の荷姿



4 冷却めを行います。



5 専用コンテナで持込みそ
の後冷蔵保存



- ✓ 播種機・移植機はJAでリースしますので、初期投資がかかりません。
- ✓ ご希望により定植までの苗の供給が可能です。
- ✓ 通いコンテナを使用しますので、出荷資材費を削減できます。
- ✓ パッケージセンターを利用しますので荷選り作業が不要です。
- ✓ ブロッコリーは買取り価格が決まっているので、市場価格が乱高下しても、価格は安定します。
- ✓ 水稲の後作として栽培可能です。(但し、9月定植の場合は、早期水稲後作となります。)
- ✓ 冬場の所得確保のひとつの作物として有効な野菜です。

アグリ土づくりセンターの堆肥について

アグリ土づくりセンターの牛ふん堆肥をいつもご利用いただきありがとうございます。

「農の礎は土づくりにあり」

「イネは地力でとり、ムギは肥料でとる」と古くからいわれています。水田における水稻の生育は土壌そのものもっている窒素養分の供給力（地力窒素）に大きく支えられています。水稻が吸収した窒素の半分以上は地力窒素に由来します。土壌中の稲わらや堆肥等の有機物の残量が多くなれば、有機物に含まれる窒素成分も多く蓄積し、土壌微生物の働きにより、水稻に安定的に供給され、少ない窒素肥料の施用量でも十分な水稻収量を得る農業技術の実現につながります。

[講談社 土壌微生物学 作物生産のための基礎より引用]

土作りは、良質な有機質の投入が欠かせません。是非、みなさまにアグリ土づくりセンターの堆肥をご活用いただき、土作りを基礎とした農業を実践して下さい。

アグリ土づくりセンターは、堆肥による土作りを通して、みなさまの大切な資源である土の健康づくりをお手伝いさせていただきます。

☆直取り（アグリ総合センターに取りに来られる場合）

1,000円/軽トラ1台

軽トラ以外は

3,500円/トン（計量）

大口取引（200トン以上）2,000円/トン

☆配達のみ

8,000円（2トン車1台）

☆配達・散布（10a当たり2トン）

散布面積3ヘクタール未満 9,500円

散布面積3ヘクタール以上 9,000円

大口取引

7,500円/10a（200トン以上）

6,500円/10a（500トン以上）

☆園芸用堆肥

直取り **5,000円/（1.8m³大バケツ）**

4,000円/（1.4m³小バケツ）

配達 12,000円/3.6m³

お申し込み・お問い合わせは

JA直鞍 アグリ土づくりセンター

鞍手町室木189-1

TEL 0949-43-1175

農薬を知る。理解する。 適正に使う。

使用する前に

使用した後は

ラベルの適用作物
使用方法を確認

農薬の使用履歴を
帳簿に記録



■適用害虫と使用方法

適用作物	適用害虫	希釈倍率	使用時期	使用回数
ほうれんそう きゅうり すいか メロン かぼちゃ トマト	アブラムシ類	1000	収穫7日前まで	2回以内
なす ピーマン		1000~2000	収穫14日前まで	3回以内

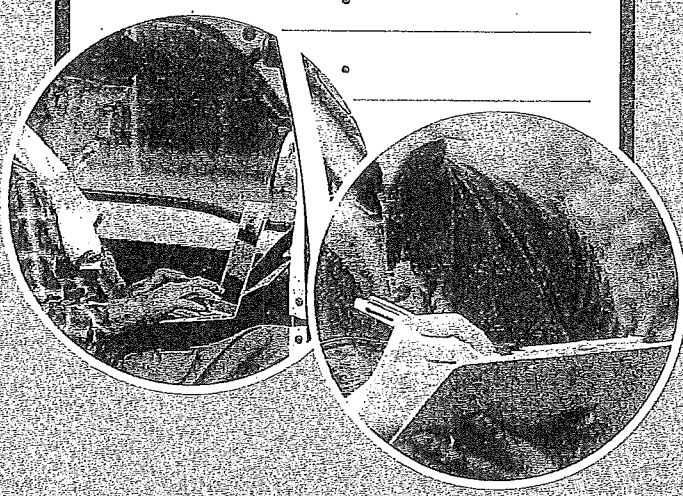
- 使用上の注意事項
- ・使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ること。
 - ・調整した薬液は、できるだけ早くその日のうちに使用する。

似ていてもラベルに記載がなければ
使用できません!



〈記帳例〉

1. 使用年月日
2. 使用場所
3. 農作物名
4. 農薬の種類または名称
5. 使用量または希釈倍数



① 飛散の少ない剤型
飛散低減ノズルを使用

② 十分な時間の余裕を
もって幅広く周知

農薬は周りに配慮し
正しく使用 飛散防止

③ 防除機器・散布装置の
機能や性能を正しく理解

④ 周りに影響が少ない
天候や時間帯を選択



面白い!

読めば読むほど、

毎日読むから、ためになる。
明日を拓くチカラになる。

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
www.agrnews.co.jp



実利実益の情報、さらに充実! 今春から文字を大きくし、読みやすさもUPしました!

日替わり特報

最終面に特報のページを創設します。営農、流通、若者・移住など多様なテーマを深掘りしてお届けします。

年間キャンペーン企画「フードエイジ」

「国消国産」の取り組みなど、消費者の共感を生む、農と食の新たな展望を描きます。

新型コロナ対策を重点報道

コロナ禍における農畜産物の販売トレンドや、農業経営の支援策など、農家が今欲しい情報を分かりやすく伝えます。

2021年産米の生産・販売動向

需給安定に向けた産地の動向、販売の工夫、政策について多角的に検証します。

現場で使える営農技術

省力化や品質向上につながる最新技術、資材、研究成果を取り上げます。現場で導入・実践できる技術にこだわります。

JAの経営、業務をサポート

JAの業務効率化などの先進事例を重点報道します。職員のスキルアップや仕事に役立つ情報も追いかけていきます。

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞

〒110-8722 東京都台東区秋葉原 2-3
https://www.agrnews.co.jp

ご購入のお申し込みは、あなたのJAまで。 **1か月 2,623円 (税込)**
新聞本紙、電子版とも同じ価格です。

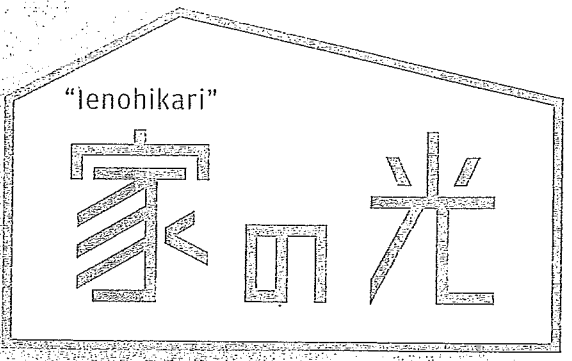
日本農業新聞 購読申込書

年 月 から購読します。

ふりがな			電話番号		
氏名					
ふりがな					
住所					
取扱いJA名	JA	支所・支店名	支所・支店		
申込種別	<input type="checkbox"/> 新聞本紙 A欄もご記入ください。⇒	ふりがな			
	<input type="checkbox"/> 電子版 B欄もご記入ください。⇒	世帯主			
		メールアドレス			

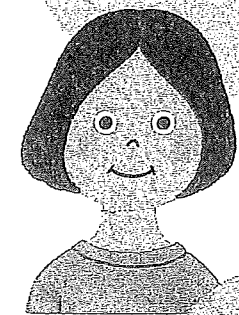
※電子版サービスは、2021年秋開始予定。 個人情報は適切に管理し、日本農業新聞の配達など購読に関する業務に利用させていただきます。

読者のみなさんに
聞きました

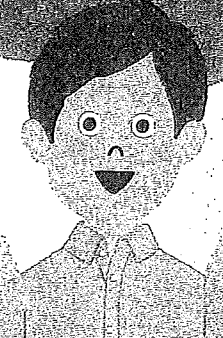


つて
どんな雑誌?

「おうち
時間」の
心強い味方です



すぐに
役だつ情報が
毎月載っています

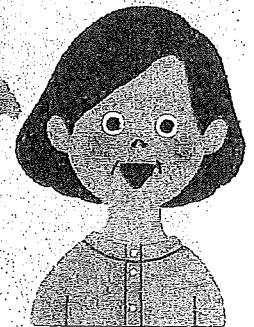


別冊付録は
永久保存版の
クオリティー!

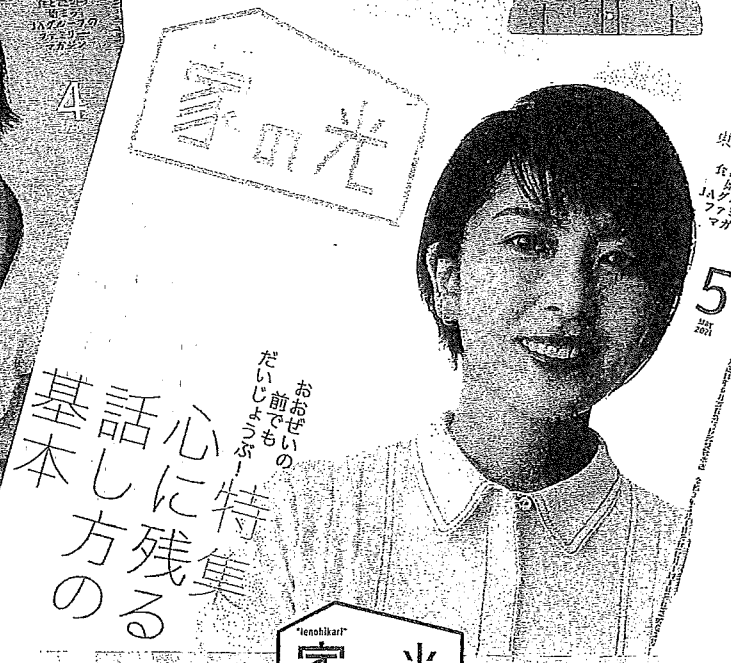


孫と
いっしょに
楽しめます

JAIに集まって
地域の人と
いっしょに
活動できる
雑誌です



特集
首・腰
びざの
痛み
解消術



おあせいの
だいじょうぶ
心に残る
話の本
集



食と農から始まる。JAグループのファミリー・マガジン **家の光** ガイド

JAでは、「家の光」の記事を活用した
さまざまなイベントを開催しています

仲間と活動すると
もっと楽しい!



地域の人たちがJAの支店に集まってみんなで体操をしたり、
手芸が好きな人たちでグループをつくって毎月活動したり……。
JAでは、「家の光」の記事を活用したさまざまな活動が
行われています。一人で、家族で楽しむだけでなく、
みんなで楽しめるのが「家の光」の大きな特徴です。

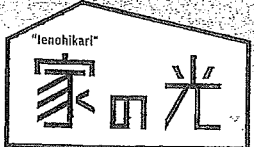


正確で役にたつ情報をお届けします

『家の光』は1925年(大正14年)に創刊された、100年近い歴史のある家庭雑誌です。農村を中心に親から子、孫へと読み継がれ、令和となった現在でも、JAをつうじて全国の多くの方にご購読いただいています。

スマートフォンが普及し、いつでも手軽に情報を得られるようになりましたが、インターネットを中心に信憑性に疑問符がつく情報が氾濫していることも事実です。『家の光』は編集部が情報を吟味し、みなさまがいま読みたいと思う記事をお届けしています。

『家の光』編集長 中本英明



普通月号	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	922円
付録月号(家計簿付き12月号)	1,027円

購読のお申し込みは
お近くのJAへ